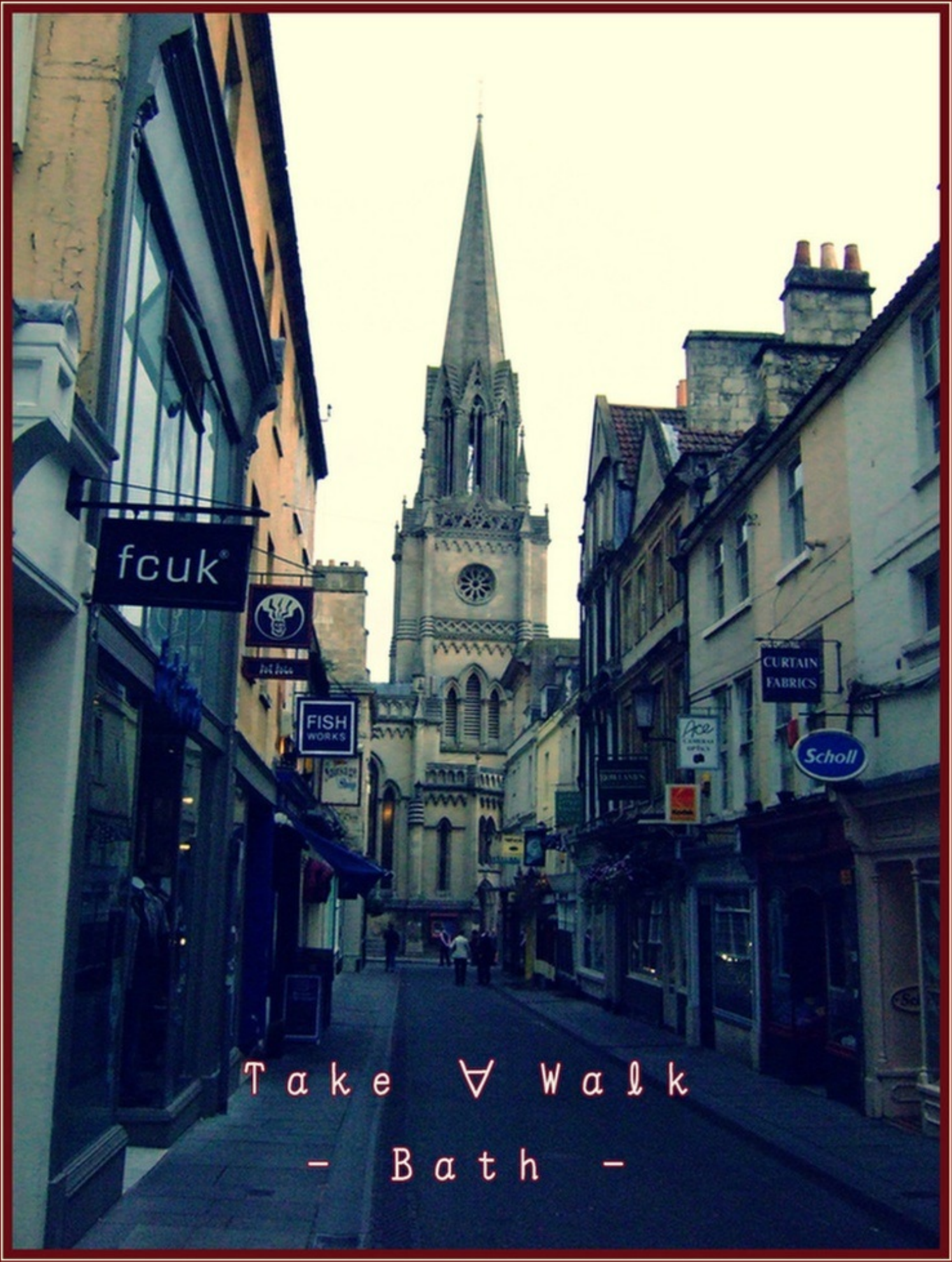


Take ∀ Walk

- Bath -

ハチミツ色の町

バースは非常に坂道が多い

ハチミツ色の建物はイングランドの伝統様式だとか

美観

均整がとれた町並には、完成された美しさがあると思う

バースでは建築物に高さや色、外観等に厳しい規制が課せられてあり
それが故にこのような美しい町並みを実現している

人気都市

ここバースの市街地は、ユネスコの世界遺産として登録されており
イギリスでもロンドンに次ぐ観光人気を誇る

一方で、バース大学への留学生が数多く暮らす学際都市でもある

パルトニー橋

この橋、パルトニー橋はイングランドの伝統的な橋建築様式を踏襲している
橋と建物が一体化しており、中には土産物屋などが並ぶ

パルトニー橋　裏側

しかし裏から見ると、案外つぎはぎだらけだったりする

飛込み禁止

川があれば飛び込む、それは万国共通の心理のようです

ひとやすみ

中心街の公園

寝そべって読書や昼寝するのには最適なスポットだ

ガラス工房のなんともアートな看板

路地裏

にぎやかなメインストリートをひとつ離れて
静かなカフェで一休み

延々と・・

しかしここまで徹底的に建物が統一されていると、

自分の家がどこか分からなくなりそうだ

市街地

市街地２

教会

まさに絵本に出てきそうな風景

世界中の人々を魅了する理由も納得

町の楽団

笛吹きのおじさま

愛犬の興味なさそうな表情が良ポイント

ローマンバス

この町のルーツはローマ時代にまで遡り、高名な温泉地であった
その名残で現在でもヨーロッパ各地から温泉を求めて多くの人々が訪れる

ちなみに、バースの町名はもちろん、風呂の”Bath”が由来

ローマンバス２

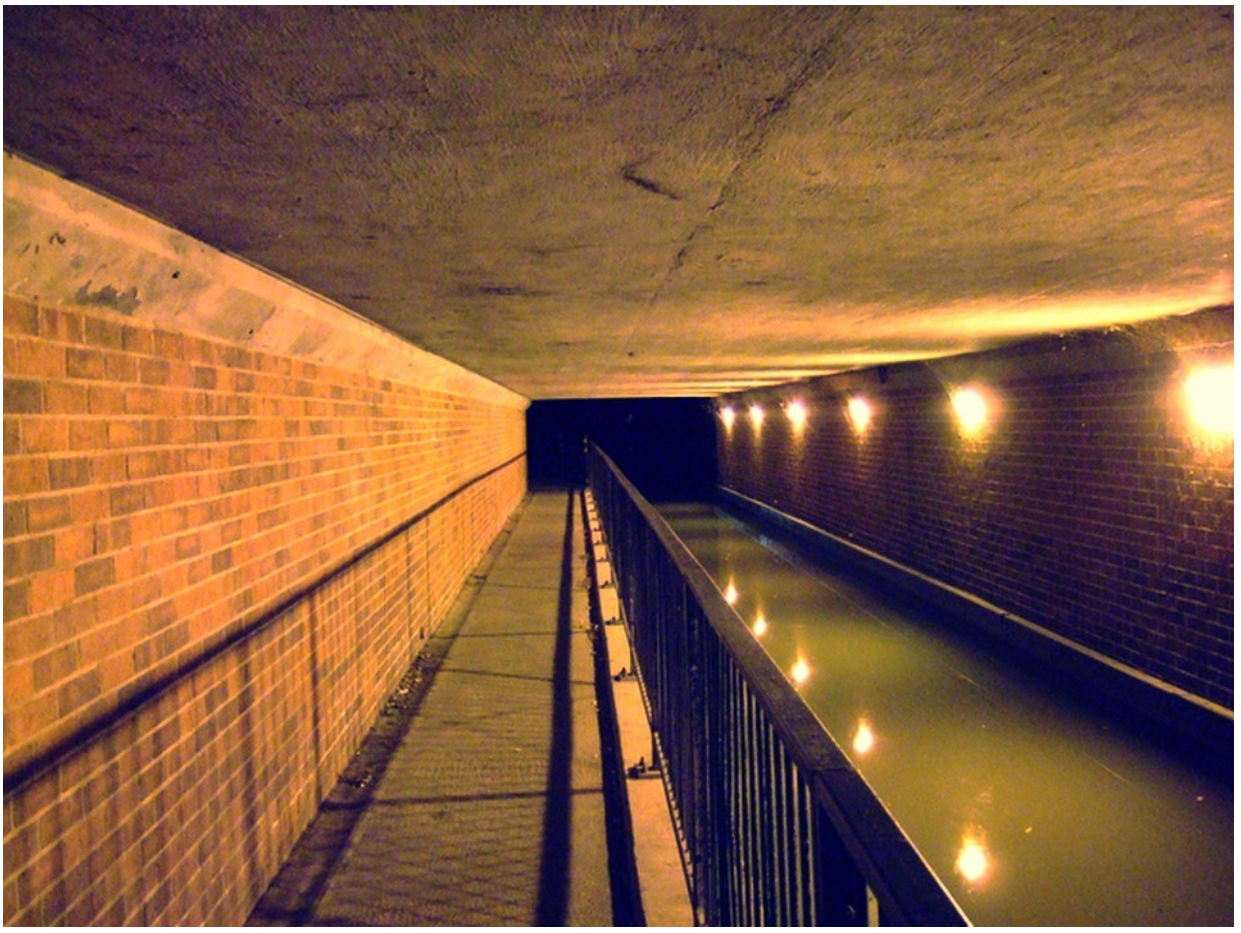
ローマンバスには実際に入浴することもできる

日本の温泉と違い、水着を着用して入浴するのが流儀

バースアビィ

初の統一イングランド王となったエドガー王が戴冠式を行った由緒ある教会
ただし現在の教会は、1499年に再建されたものである

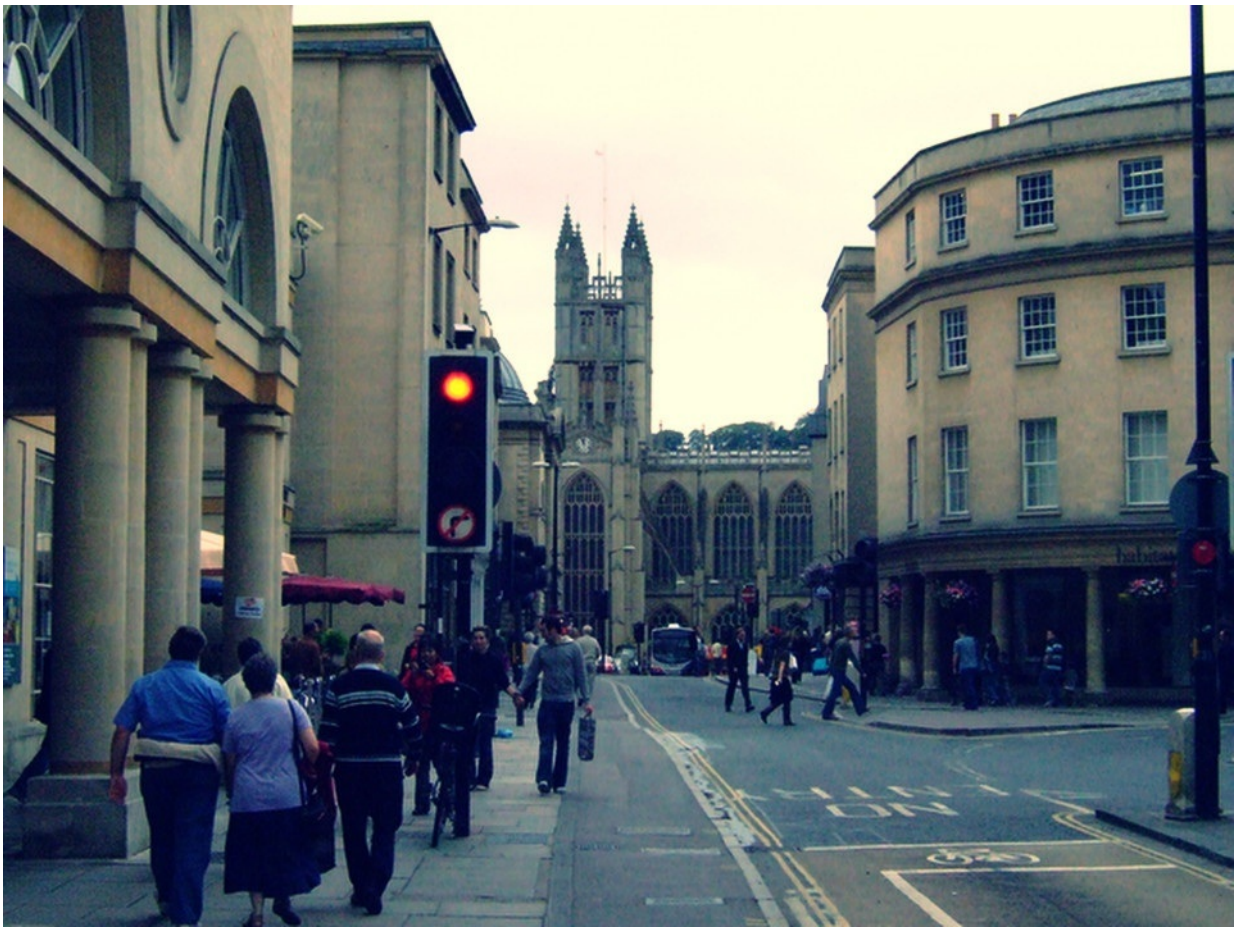
地下道



進んだらこのまま帰ってこれない・・

そんな底知れない魅力が地下道にはあると思う

バースアビィを遠巻きに



最終目的地へ

いたってシンプルなプラットホーム

ここから最終目的地、湖水地方に向かいます

あとがき

ご覧いただき、ありがとうございます。

前回のロンドンに引き続き、バースの風景写真をまとめてみました。
まさに大都会といったロンドンとはうって変わり、バースはリゾート地、観光地としての
側面がより強いせいか、非常に美観に気を使っていることが窺い知れる町でした。
住むのに適しているかは別にして、何度でも訪れたい魅力を持っていることは間違いありません
。

ちなみに、私の写真では異国の空気感を感じてもらうことをモットーにしています。
ご覧頂いた皆様が、少しでも「ここに実際に行ってみたいなぁ」と思って頂ければ幸いです。

次は湖水地方をご紹介します。
ではまた。

OKi
FaceBook：http://www.facebook.com/profile.php?ref=profile&id=100000516127876